

3 年 地理 A・地理 B 課題 5 月 12 日配付分

組 番 氏名

下記の講座を見て、下の問いに答えなさい。スマホ・PC はいつでも閲覧できます。必要な場合は教科書（地理 A p42～43、地理 B p50～55）を参照すること。

NHK 高校講座「地理」世界の気候を見てみよう (1)～気候はどうして作られるか～

5 月 15 日（金）14:40～15:00 NHK E テレ（2 c h）にて放送

または <https://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/chiri/index.html>

問 1. 次の文中の空欄にあてはまる語を答えなさい。

① 1 日の気温の変化の大きさを（ ）、1 年の変化の大きさを（ ）という。陸地に比べて水は、温まりにくく冷めにくい性質がある。そのため海に近いラバトは、気温の年較差が小さい（ ）気候となっている。反対に、大陸内部で温まりやすく冷めやすいペシャワルは、気温の年較差の大きい（ ）気候になっている。

② 地球の表面付近で起こる大規模な風の流れを（ ）という。赤道付近では、太陽エネルギーを大量に受けるため、空気が温められて上昇気流が発生し、（ ）ができる。そこで上昇した気流は、地球の自転の影響で、緯度 20 度から 30 度付近で下降気流となり、（ ）ができる。一方、極付近では冷やされた空気により下降気流が発生して、極高圧帯が形成され、ここから極偏東風が吹く。それは緯度 60 度付近で上昇気流となり、（ ）が生まれる。このような仕組みで、緯度の低い地域と高い地域では、熱の交換が行われている。そして、緯度 30 度から 60 度の範囲では、上空を西から東へ蛇行しながら流れる風、（ ）が吹いている。また、季節によって風向きが変わる風を（ ）という。

③ 赤道付近から流れる水温の高い海流は（ ）、北極や南極付近から流れる水温の低い海流は（ ）という。

問 2. 赤道は常に暑く、北極・南極は寒い。なのに両者の温度差が一定に保たれているのはなぜか。説明しなさい。

問 3. 偏西風や季節風が私たちの生活にどのように影響しているか。例をあげなさい。

3 年 地理 A・地理 B 課題 5 月 19 日配付分 組 番 氏名

下記の講座を見て、下の問いに答えなさい。スマホ・PC はいつでも閲覧できます。必要な場合は教科書（地理 A p42～53、地理 B p56～73）を参照すること。

NHK 高校講座「地理」世界の気候を見てみよう (2)～いろいろな気候の違い～

5 月 22 日（金）14:40～15:00 NHK E テレ（2 c h）にて放送

または <https://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/chiri/index.html>

問 1. 次の問いに答えなさい。

①ケッペンが区分した樹木のない気候を 2 つ答え、その特徴をまとめなさい。

（ ） 帯

（ ） 帯

②ケッペンが区分した樹木のある気候を 3 つ答え、その特徴をまとめなさい。

（ ） 帯

（ ） 帯

（ ） 帯

③空欄に適する語を書きなさい。

植物は、地表に落ちると微生物の働きで徐々に分解されて、土地を肥やすための肥料、腐植となる。しかし 1 年中熱く、降水量が多い『熱帯』では、腐植はすぐに分解されて雨に溶けて流されてしまう。やせた土地に残るのは、水に流されなかった鉄やアルミ分。残った鉄分のさびで赤くなった熱帯の土、これを（ ）という。土壌に残ったアルミ分は、アルミはくの原料となるボーキサイトとして産出される。砂漠には岩塩などからなる砂漠土が広がり、「温帯」には肥沃（ひよく）な黒色土などの土壌、「亜寒帯」には養分の少ない灰白色の（ ）、そして「寒帯」にはコケなどが堆積した（ ）がみられる。